

日本での交換留学

高麗大学校

サイエジン

日本に来た日が昨日のように感じますが、あっという間に前期が終わりました。最初は生活用品の備え、年金免除や健康保険料などの手続きをすることで大変でしたが、韓国と文化的に近い国なので、一度慣れてからはすぐ適応できました。

学期が始まったらホームルームを含めて 8 つの授業を受けなければならないので、私が受けた授業を紹介します。日本語演習 3 では日常生活や日本社会に関することを学び、数回の発表とディスカッションを通じて様々な国から来た友達の意見や文化の違いなどを知ることができました。日本語演習 4 では、お茶大の学生と交流するイベントを自分たちで企画・開催することができ、貴重な経験になりました。日本語演習 5 ではアカデミックな発表とそのため準備過程や日本語を体系的に学びました。日本事情演習 3 では自分のキャリア結成と日本の就職などについて学びました。日本事情演習 4 では日本国内の差別など社会問題についてディスカッションと発表をしました。

他に私が取った専攻授業は日本文化史概論と日本文学概説です。私のように、日本史を日本語できちんと勉強したことがない人なら歴史授業は難しいと思います。日本文学は私の知識が浅いにもかかわらず、とても興味深く、楽しかったです。ですが、日本歴史に関する分厚い小説を読んでレポートを書く期末課題があつて大変でした。

授業以外は、学校のサークルに参加しました。緑会という合唱団で、お茶大と東京大、日本女子大を中心としたインカレサークルです。色々な大学の日本人学生たちと交流しながら活動できて楽しかったし、日本語実力も上がりました。毎週2回ある自由参加練習だけでなく、他のサークルとのジョイントコンサート、合宿、学園祭、食事会などイベントが多いサークルなので、日本の様々なサークル活動を経験することができました。

また、お茶大は留学生を対象とした色々な体験教室を提供しています。例えば、歌舞伎教室、生け花、茶道、浴衣や着物体験などがあり



ます。平日の授業がある時間に行われるので、残念ながら今学期は歌舞伎教室しか参加できませんでしたが、次の学期にはもっと多く参加したいです。なお、思ったより授業と課題で忙しいので、逃さないようにしながら、暇があるときにたくさん出歩くことが大事だと思います。特に一学期留学だとあっという間に時間が経ってしまうので、あらかじめ旅行計画もよく考えて来るといいと思います。

最後に、お世話になった方々に感謝の挨拶をしたいと思います。いつもご親切に対応してくださった寮の管理人の方々と

国際科職員の方々、ありがとうございました。萩原先生、西坂先生、王先生、ご指導いただきありがとうございました。森山先生、いつも温かいコメントをいただきありがとうございました。次の学期もよろしく願いいたします。